

目 次

【共通編】

1章 総則	1
1.1 適用範囲	1
1.2 用語の定義	2
1.3 本ガイドラインの構成と字句の意味	4

【設計基準作成者編】

1章 要求性能	5
2章 主要な限界状態と限界状態関数	5
3章 目標性能水準の設定	6
3.1 目標性能水準の設定	6
3.2 目標性能水準の設定方法	6
3.3 コードキャリブレーション	7
4章 性能照査法の設定	9
4.1 性能照査法	9
4.2 確率を用いた性能照査	9
4.3 部分係数を用いた性能照査	10
5章 資料の掲載	13

【設計者編】

1章 要求性能の設定	15
2章 限界状態関数の設定	15
3章 目標性能水準の設定	16
4章 性能照査	16
4.1 性能照査法	16
4.2 確率を用いた性能照査	17
4.3 部分係数を用いた性能照査	17

付録 A 目標性能水準の設定方法

1. 目標性能水準の設定方法の概説	A- 1
1.1 災害統計量に基づく方法	A- 1
1.2 リスク評価に基づく方法, 期待総費用最小化による方法	A- 2
1.3 現行設計基準へのキャリブレーションによる方法	A- 2
2. ISO や欧米基準で採用されている目標性能水準の大きさとその背景	A- 4

2.1	目標信頼性指標の例	A- 5
2.2	目標信頼性指標の設定に影響する要因	A- 7
	参考文献	A- 9

付録 B 確率変数の分布形と統計量

1.	基本事項	B- 1
1.1	確率分布の中心に対する統計的特性	B- 1
1.2	確率分布の裾野に対する統計的特性	B- 1
1.3	確率変数の基本統計量	B- 1
1.4	確率変数の分布形状	B- 2
2.	確率変数の分布形と統計量	B- 4
2.1	作用	B- 4
	参考文献	B-12
2.2	材料	B-14
	参考文献	B-47
2.3	算定式	B-48
	参考文献	B-59
3.	統計量の設定例	B-60
3.1	極値統計解析を用いた作用の設定	B-60
	参考文献	B-65
3.2	フラクタイル値から変動係数を設定する方法	B-66

付録 C 信頼性解析・部分係数の設定方法

1.	はじめに	C- 1
2.	信頼性解析の手法	C- 1
2.1	信頼性解析のための基本的定式化	C- 1
2.2	モンテカルロシミュレーション (MCS) による方法	C- 3
3.	部分係数	C- 5
3.1	計算方法の概要	C- 5
3.2	簡単な例題を用いた部分係数の設定の例	C- 6
4.	コードキャリブレーション	C-12
4.1	コードキャリブレーションの手順	C-12
4.2	コードキャリブレーションの事例	C-12
	参考文献	C-18